

山家紀夫『日本経済 30 年史』岩波新書 2019 年

## 第 1 章 30 年間で日本経済や暮らしはどう変わったか

### 用語調査

#### 1. GDP 実質成長率(P8L3)

実質 GDP の伸び率のこと。GDP が前年比や前四半期でどの程度増加したか減少したかをパーセントで示す割合。GDP 実質成長率=(今年の実質 GDP－去年の実質 GDP)÷去年の実質 GDP×100 で求めることができる。(www2.meijo-u.ac.jp)

#### 2. ギリシア危機(P9L12)

2009 年の政権交代の際、旧政権により隠蔽されていた財政赤字が明らかになった。このため新政権から財政健全化計画が発表されたが経済成長率などの点において楽観的な内容であったためギリシア国債の格下げ、及び同国への融資額が大きいドイツ国債の価格や通貨ユーロが下落しギリシアと同じように財政赤字の大きいイタリアとスペインなどの国債価格も下落した。(わらしべ瓦版)

#### 3. 分水嶺(P12L1)

雨水が異なる水系に分かれる場所であることから物事の方角性が決まる分かれ目のたとえ(コトバンク)

#### 4. 消費者物価指数(P21L10)

消費者が購入するモノやサービスなどの物価の動きを把握するための統計指標であり国民の生活水準を示す指標のひとつ。(SMBC 日興証券)

#### 5. OECD(P25L4)

Organization for Economic Cooperation and Development の略で、経済協力開発機構を指す。世界中の経済、社会福祉の向上を促進するための活動を行なう国際機関。欧州を中心に日米など 35 カ国が加盟している。(SMBC 日興証券)